

名称：急性心筋梗塞患者における退院時のACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

指標番号：

QIP：2051

年度：2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日：2018-09-21

指標群：循環器系疾患 薬剤

名称：急性心筋梗塞患者における退院時のACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

意義：治療内容をみるプロセス指標

必要データセット：DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約：

分母：急性心筋梗塞で入院した症例数

分子：分母のうち、退院時にACE阻害剤（ACEI）もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤（ARB）が投与された症例数

指標の定義算出方法：

分母の定義：

1：

解析期間に退院した症例を対象とする。

2：

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3：

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

4：

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5：

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「0 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6：

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義：

1：

退院時にACEIもしくはARBが処方されている症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

退院時処方判定：

2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」

2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2144001	カプトプリル	○	○	○	○	○
2144002	エナラプリルマレイン酸塩	○	○	○	○	○

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2144003	アラセプリル	○	○	○	○	○
2144004	デラプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144005	シラザプリル水和物	○	○	○	○	○
2144006	リシノプリル水和物	○	○	○	○	○
2144008	イミダプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144007	ベナゼプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144009	テモカプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144010	キナプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144011	トランドラプリル	○	○	○	○	○
2144012	ペリンドプリルエルブミン	○	○	○	○	○
2149039	ロサルタンカリウム	○	○	○	○	○
2149040	カンデサルタンシレキセチル	○	○	○	○	○
2149041	バルサルタン	○	○	○	○	○
2149042	テルミサルタン	○	○	○	○	○
2149044	オルメサルタンメドキシミル	○	○	○	○	○
2149046	イルベサルタン	○	○	○	○	○
2149047	アリスキレンフマル酸塩	○	○	○	○	○
2149048	アジルサルタン		○	○	○	○
2149110	ロサルタンカリウム・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149111	カンデサルタンシレキセチル・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149112	バルサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149113	テルミサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149114	バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149115	オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン	○	○	○	○	○
2149116	カンデサルタンシレキセチル・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149117	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149118	イルベサルタン・アムロジピンベシル酸塩		○	○	○	○
2149119	イルベサルタン・トリクロルメチアジド		○	○	○	○
2149120	バルサルタン・シルニジピン			○	○	○
2149121	アジルサルタン・アムロジピンベシル酸塩			○	○	○
2149122	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩・ヒドロクロロチアジド				○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1:
QIPの過去の似た指標では平均50%程度だが5%~95%まで幅有り。今回の指標では退院時に限定しているため下がる可能性がある。

参考資料:

1:

日本循環器学会ほか, 心筋梗塞二次予防に関するガイドライン (2011年改訂版), 2011

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21